

変異原性 QSAR ワークショップ

開催形式：第 53 回 JEMS 大会サテライト WS、対面および web 配信

日時：12 月 4 日（水）13:00～17:00

場所：日本橋ライフサイエンスビル 8F 会議室

- | | |
|--|--|
| <p>第 1 部</p> <p>座長：橋本 清弘（武田薬品工業）、小山 直己（中外製薬）</p> <p>13:00 - 13:10 変異原性 QSAR の現状と課題
三島 雅之（国立医薬品食品衛生研究所）</p> <p>13:10 - 13:30 芳香族アミン変異原性予測の偽陽性低減のための、ニトレニウムイオン安定性に基づくローカル QSAR
武藤 重治（中外製薬）</p> <p>13:30 - 14:00 The Carcinogenic Potency Categorization Approach (CPCA) for N-Nitrosamine Impurities
Naomi Kruhlik 博士（FDA 医薬品評価研究センター）</p> <p>14:00 - 14:20 ニトロソアミン類の発がん性強度予測手法 Carcinogenic Potency Categorization Approach (CPCA) の妥当性検証
井上 薫（国立医薬品食品衛生研究所）</p> <p>14:20 - 14:40 ニトロソアミン類の代謝機構に基づく発がんリスク予測モデルの開発
臼井 一晃（昭和薬科大学）</p> <p>14:40 - 15:00 ニトロソアミン化合物を例とした遺伝毒性発がん性不純物の許容値設定における課題
広瀬 明彦（一般財団法人化学物質評価研究機構）</p> <p>第 2 部</p> <p>座長：橋本 清弘（武田薬品工業）、小山 直己（中外製薬）</p> <p>15:10 - 15:15 イントロダクション
小山 直己（中外製薬）</p> <p>15:15 - 15:35 がん原性試験に基づいた AI 設定の考慮点
橋本 清弘（武田薬品工業）</p> <p>15:35 - 15:50 化学反応性に基づいた変異原性予測
長遠 裕介（富士フイルム富山化学）</p> <p>15:50 - 16:05 Ames 試験結果のエキスパート判断
小山 直己（中外製薬）</p> <p>16:05 - 16:25 量子化学計算による芳香族ボロン酸化合物の変異原性予測
磯村 峰孝（エーザイ）</p> <p>16:25 - 16:40 ニトロベンゼン化合物の Ames 試験評価と変異原性予測
武藤 重治（中外製薬）</p> <p>16:40 - 16:50 エキスパート判断の事例紹介
田村 慎司（小野薬品工業）</p> <p>16:50 - 17:00 総合討論（Q & A）
閉会あいさつ
橋本 清弘（武田薬品工業）</p> | <p>プログラム</p> <hr/> <p>Program</p> <hr/> <p>受賞講演</p> <hr/> <p>招待講演</p> <hr/> <p>特別講演</p> <hr/> <p>シンポジウム</p> <hr/> <p>一般口演</p> <hr/> <p>ポスター</p> <hr/> <p>研究会定例会</p> <hr/> <p>ワークショップ</p> <hr/> <p>人名索引</p> |
|--|--|